

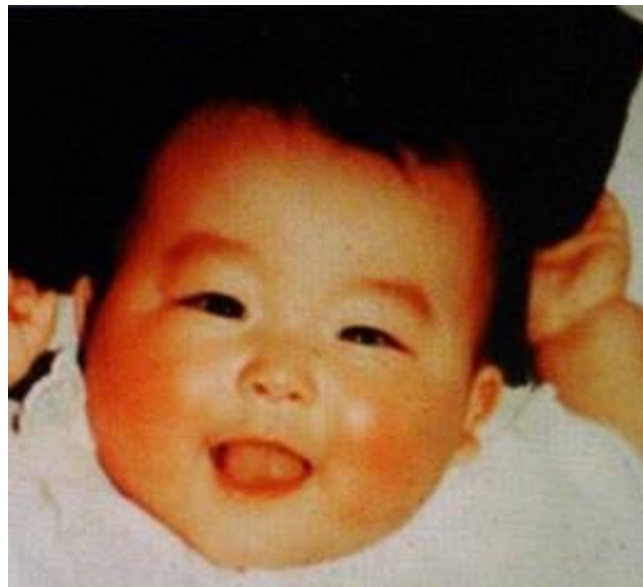
顔や体を見るだけで性格が分かる

体壁の世界へようこそ

初めまして。

体壁コンサルタントの石川真衣といいます。

まず、この写真を見てください。



この赤ちゃんの性格がわかりますか？

いきなり何？

赤ちゃんに性格なんてないよ！と
思う方もいらっしゃるかもしれませんが
実は、人には生まれ持った性格、特徴があるのです。

その性格、特徴を知るための術を

体壁（タイヘキ）といいます。

人の「顔つき・体つき」と「性格」には
強い相関関係があることが東洋医学の世界では知られています。

そして、それはこの写真のように
まだ小さい赤ちゃんでも例外ではありません。

私は、体壁を使って
人間関係や仕事で悩んでいる方のコンサルをしています。

最近では、夫婦関係に悩む方の相談に乗ったり、
生まれたばかりの赤ちゃんをどのように育てていくべきか
という相談も受けています。

赤ちゃんをどう育てるのか？
そんなことまで体壁で分かるの？

と思うかもしれませんが、体壁を知るだけで
いろいろなことが分かります。

実を言うと、一度も会ったことがない人の
体壁を読み取るということもできます。

赤ちゃんにも性格や特徴がある？

会ったこともない人の性格や特徴を読み取れる？

そんなことが可能なの？

と疑問マークばかり思い浮かんでいる方は
ぜひこのまま読み進めていただけたらと思います。

体壁とは何か

体壁とは、エネルギーの一種です。

体のどこにエネルギーが集まっているかによって
性格や特徴、価値観や人相が決まるというものです。

例えば、頭にエネルギーが集まっている人は
記憶力が良い人が多いです。
論理的思考をし、議論を好み、
本が好きで、話が上手い。

こうした体壁の持ち主は
学者の方であったり、教師の方に多く見られます。

体壁を知ることで、
自分のことがより深く分かります。

どうしてこの行動をとると辛いんだろう。
あの人と相性がどうして合わないんだろう。

なぜ、なぜと考えていたことの理由が
わかるようになるのです。

そして、自分だけでなく相手のことも深く理解できるようになります。

体壁を使ってのコンサル

私は、体壁を使ってコンサルをしています。

体壁では、人の性格や特徴を
1から10のうちの3つの数字で表しています。

たった、3つの数字です。

その数字には膨大な情報が込められています。

この数字に込められた膨大な意味に、きっとあなたは驚くことでしょう。

実際に私がコンサルでやっていることは、
コンサルを依頼された方の顔や体を見て
体壁の3つの数字を読み取り、
その数字の情報をもとにアドバイスをする

これだけです。

一人の体壁を読み取るのに30秒もかかりません。

これだけで、相性が良いか悪いかまで分かります。

以前、私に体壁を見て欲しいと依頼して来た方のお話ですが
その方は女性4人グループの人間関係に悩んでいました。

そのため、4人それぞれの相性を見てほしいと
私にお願いして来たのです。

そこで、4人の体壁をそれぞれ読み取り
その方に伝えると

『そうなんです！なぜか私はこの方を応援したくなるんです』

『確かに、この人といると辛くて二人きりでは会えないの』

とおっしゃっていました。

『顔や体をぎっと見るだけでそんなことまで分かってしまうのですか?』と
よく驚かれますが、顔や体を見ることで多くのことが分かります。

私の元には、親子関係や夫婦関係に悩む方が
よく相談に来られるのですが

そういう方の相談に乗るときも
一人の体壁を読み取るのに使う時間は
先ほど言ったように30秒です。

そして、読み取った体壁にそってアドバイスをしていくことで
それまで何十年も悩んでいた親子関係や夫婦関係が
よくなってしまうのです。

つまり、ギスギスしていた関係や
『なんでこの子は・・・どうしてこの人は・・・』
と感じていた怒りや疑問が、体壁を知ることによって
解消されていくのです。

なぜ体壁で自分のことを 知ることが大切なのか

人には生まれ持った性格、特徴があります。

そして、それは人それぞれ違います。

「勝つことが大事」という価値観を持っている人もいれば
「とにかく物事を極めたい」という価値観を持っている方もいます。

しかし、私たちは幼いころは
自分の価値観ではなく親の価値観で生きています。

「勝つことが大事」という価値観の子はどんな小さな勝負でも
何が何でも勝とうとするため、親が心配して
「もっと優しくなりなさい」と言われます。

「とにかく物事を極めたい」という価値観の子は
周りのことや、他のことをまったく見ていないように思われるため
「もっと多くのことに興味を持ちなさい」と言われます。

つまり、自分の強みや価値観と
逆のことをやらされてしまいがちなのです。

もちろん、これも悪い事ではありません。

自分の強みと逆のことをやるというのも大事なのですが
こういうことを繰り返すうちに、

自分が本来生まれ持ってきた強み、価値観、性格が
分からなくなってしまうのです。

そして、あまりにも自分の価値観や性格に合わないことを
長くやり続けると、心と体がバラバラになります。

辛い経験も成長には必要かもしれませんが
その辛さから逃げる術がもうない、というところまで
追い込まれる必要はないと思うのです。

私は高校生の時にそれを経験したのです。

もう、どうすることもできない・・・
と思ったこともありました。

事の発端は、ソフトテニスの試合で
体が動かなくなったことでした。

最初は体が思うように動かなくなる時間が数分間だったのが、
どんどん長くなってしまい、ついには公式戦だけでなく
プレッシャーも緊張感も何もないはずの練習中も
体が動かなくなってしまったのです。

そんな私を見て顧問の先生は、静かにこう言ったのです。

テニスの神様が泣いてる

今思い返しても、なんてひどい言葉なんだろうと思います。

でも、仕方がないような気がします。

私は必死で動かない体を動かそうとしていても
周りから見たら全然動けていない、見ようによっては
残念ながら「ふざけている」ようにしか見えないのです。

高校2年生の、とても暑い夏休みの真っ只中でした。

人前で泣くのが苦手な私も、さすがに悔しさとやりきれなさのあまり
泣きそうになりましたが家に帰るまでは泣きたくない、と
必死に自転車を漕いで泣くのを我慢していましたが
自分の家の敷地内に入った瞬間に涙がこぼれました。

自分の部屋に入って泣きながら
「もう頑張れない」と思いました。

もう、どうしようもない、と。

全力を出して報われないのであればそれでいいのです。
ただあの時は、テニスの時にだけ体が動かなくなってしまう原因も分からず
全力を出すこともできない日々でした。

そんな中言われてしまった、テニスの神様が泣いているという言葉。

原因も理由もわからないため、どう説明していいかもわからず
誰かに相談することもできませんでした。

あのとき、テニスの神様は確かに泣いていたかもしれません。

でも、もし泣いていたとしたら私のために泣いていたかもしれません。

どうして、そんなにボロボロになるまでテニスをするの。
辛くて仕方がないなら、休めばいいじゃない。

逃げればいいじゃない、と。

それでもやり続けたのは
私の生まれ持った性格にもあるかもしれません。

やるならじっくり、とことんやる。
感情はあまり表に出さない。

そんな生まれつきの性格通りのことをしながら
上手くいかなくなったのは、やはり人の価値観で
テニスをやっていたからでした。

“テニス”という同じことをやっているのに
自分以外の人の価値観で勝負し続けてダメになってしまったんです。

その価値観とは、
『勝つことがすべてでミスは少ない方がよい』 というものでした。

この価値観は、私が生まれ持っていたものとは真逆なんです。

私は、テニスを楽しむことが一番大事で
ミスが多くてもその分ポイントを取っていけばよいと
思うタイプだったのです。

いつのまにか、刷り込みでしょうか。
自分でない人の価値観でテニスをやっていたのです。

この後、保健室の先生に私はもう一度本来の自分を見つけてもらい
自分自身を取り戻すことで
自分の価値観でテニスをする事が出来るようになりました。

そうしたことがあったのに、
就職活動中に親の価値観で行動したため
また自分を見失ってしまうという事がありました。

ある人と話しているときに

『私は親や他の誰かの価値観でずっと生きてきました。
それに気づくのが遅かったんです。』
と話すと、その人はこう言いました。

遅かった?いや、全然早いでしょ(笑)

この言葉を言われたのは今から三年前。

当時、私は24歳でした。

私は遅いと思いましたが、
この歳で、自分ではなく他の誰かの価値観で
生きているということには
なかなか気づけないよ、と。

だったら、人より早くそのことに気づくことができたのなら。

気づくきっかけになったタイヘキを使ってコンサルをする、
あるいはタイヘキを広めていくということが
私がすべきことかなと思っています。

そして、私自身タイヘキを教えるのが楽しいのです。

タイヘキを読み取ってコンサルをしているときも
『ありがとうございます、私がいま苦しいのはそういうことだったんですね』と
涙ぐんでお礼を言ってくださる方を見ると
ああ、やっていてよかったと思います。

その時、その方が感じていた苦しさを否定するわけではなく
これからの人生の糧にできるように導く、
そんなコンサルを可能にしてくれているのがタイヘキなのです。

タイヘキでコンサルをし、多くの人の価値観に触れれば触れるほど
あの暑い夏の、辛くて仕方がなかった絶望に満ちた日々は
私にとって心と体が一致していることの重要性や、
いつも一体感を感じていることの重要性を
身をもって学んだ日々だったのだと気づかされます。

魂のキャンドルサービスで 心に灯をともし

私は、体壁でコンサルをしています
コンサルとは相手の魂に灯をともしことだと思っています。

くすぶっていて、上手く燃えることが出来ない人。

でも燃えたい。
この現状から何とか這い上がりたい。

そんな人の魂に灯を、心に火をつけること。

目の前の一人ひとりに光を見出すことが出来なければ
本当に良いコンサルタントとは言えないでしょう。

そのための体壁です。

私が読み取るのは体壁の数字ですが
数字が持っている情報をただ伝えているではありません。

一人一人をしっかりと見て、伝え
話すことで相手を知るのです。

そうして、対話をすることでその人の心に
火をともししていくのです。

一人の魂に灯をともしことが出来れば
その炎は、またどんどん多くの人の魂に灯をともし
さらに燃え上がっていきます。

いわば、魂のキャンドルサービスです。

みなさんには最初の

燃え上がるキャンドルになってほしいと思っています。

そこから、魂の灯が多くの人に渡っていくのです。

それは、本当の意味で世直しと言えるでしょう。

私自身、魂の灯が消えるときまで、
キャンドルに火をくべていけるような存在になりたいと
と思っています。

真の空で歌うように 書いた文章を届けたい

魂に灯が宿ったのであれば
今度はそれを多くの人に伝えていく方法を
磨かなければなりません。

今回、伊藤さんには体壁を使って
ライティングを教えて欲しいとお願いされました。

刺さる文章、多くの人が共感する文章って
一体どんなものなのか。

売れる文章って、一体なんなのか。

以前、伊藤さんや湯浅さんと
あるセールスレターを読んだことがありました。

100ページ以上もあるような、渾身のレターでしたが
3人の共通の意見は『これは売れないだろうね・・・』
でした。

頑張って書き上げた感じは伝わってくるけれど

この人自身から出た言葉じゃないよね、ということも伝わってきてしまったのです。

そうすると、やはり読み手の人はその文章に違和感を感じてしまうのです。

だからこそ、**真の自分**で。

真の空（クウ）で歌うように。

このことばは、私が好きなアーティストの曲の歌詞にあったことばです。

何の邪念もない心で、
体にもストレスが溜まっていない状態で。

まるで歌うように、
自分自身から溢れ出た言葉で文章を書くことができれば
読んでくれた方や相手に伝わらないわけがないと思うのです。

逆に、邪念だらけで
疲れやストレスをたくさん抱えたまま書いた文章は
相手にも疲れやストレス、違和感を与えてしまいます。

他の人が書いた、売れに売れたセールスレターを真似して書いても
それはあなたが書いた文章ではないので、読み手の方は
違和感を感じてしまいます。

先ほどの、100ページ以上にもなるセールスレターも
誰かの文章を真似したものだったのかもしれませんが。

しかし、そんな文章で自分が伝えたいことを伝えようとしても
良い結果には結び付きません。

真の空、真の自分になるためには
まずは自分のことを知ることです。

そのための体壁です。

たくさんの価値観に埋もれてきた、
でもしっかりと心の中にある自分。

自分って、どんな人だったのか。

どんな性格で、どうすればよりエネルギーが上がるのか。

一体、どんな文章が
真の自分から溢れ出る文章なのか。

知っていてビジネスをするのか、
知らないままにいるのかでは
結果が大きく異なってくるはずです。

新たな体壁を取り入れ、 その先へ

そして、私にも課題があります。

さらなるエネルギーアップをするために
新しく取り入れていくべき体壁があるのです。

先ほども言いましたが、体壁は生まれつきのもので
人それぞれ違います。
そのため、新しく取り入れていくべき体壁も人それぞれ違います。

体壁のゴールは、1から10のタイヘキのすべての要素を
自分に取り入れていくことになります。

ただ、これも人によって
取り入れやすい順番があるのです。

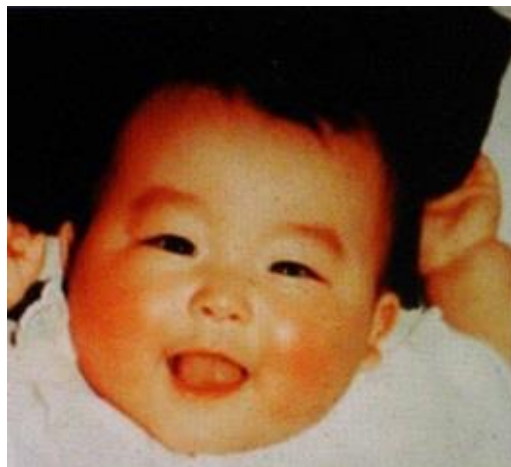
その順番通り、自分に新たな体壁を取り入れていくことが
さらなる成長、エネルギーを上げる方法となります。

では、私が入り入れるべき体壁とは
なんなのでしょうか。

さて。

最初にお見せした、赤ちゃんの写真を覚えているでしょうか。

この子ですね。



実は、この子、みなさんが知っている
有名なあの方です。

この方です。



フィギュアスケートの浅田真央さん。

私が入り入れるべき体壁は、
彼女の体壁そのものです。

彼女の体壁。

体壁には、それぞれの成功のストーリーがあります。

あの、ソチ五輪で見たボロボロのショートから
一夜明けての史上最高のフリー。

あれこそ、成功ストーリーです。
まさに神話です。

だからこそ、日本人のみならず世界中の人が涙し、
4年以上経った今も、あの時の演技をみて
涙する人がいるのです。

それぞれの体壁には
それぞれの成功ストーリー、神話があります。

私は、体壁を学ぶ皆さんが
自分の体壁の数字の成功ストーリーを知り、
自分自身の神話を紡いでいくお手伝いをしたいと思っています。

刺さるライティング、伝わる・売れるライティングとは
あなた自身の神話、体壁に沿って書かれた文章なのです。

この文章を読んで少しでも興味を持った方は
ぜひ今回の講座に参加していただけたらと思います。

みなさんの体壁を先に見させていただき、初回セミナーの前にお伝えするので
講義を受けるごとに、より自分を理解していくことが出来ると思います。

それでは、当日楽しみにしております。